

新型コロナウイルス感染症患者に合併した気胸に関する後向き観察研究

1. 研究へのご協力をお願い

当院では、最新の(最善の)医療を患者さんに提供するとともに、より良い治療法や診断法などを開発するための臨床研究を行っています。患者さんに参加していただき、治療方法や診断方法が有効であるか、あるいは安全であるかを調べることを臨床研究といいます。

2. 研究の背景

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が2020年初頭から日本で流行し始め、2022年12月現在でも流行が続いています。

COVID-19には呼吸器系、心血管系、消化器系、内分泌系に様々な合併症が生じることが知られていますが、呼吸器系においてはその経過中に、気胸が合併することが報告されており、重症COVID-19患者における人工呼吸管理中(陽圧換気中)に発生するものから、軽症～中等症患者での偶発的な気胸の合併に至るまで様々な報告があります。軽症COVID-19では1%前後に、ICU管理が必要な重症COVID-19患者では10%に及ぶとされています。日本における単施設の観察研究ではCOVID-19患者の0.79%に気胸の合併が見られ、気胸合併患者では死亡率が有意に高かったことが報告されています。

3. 本研究について

この研究は、2020年1月から2022年12月末までにCOVID-19と診断されて当院を受診した患者さんのうち、COVID-19診断後、6ヶ月以内に気胸を合併した患者さんを対象とします。対象となる患者さんの臨床所見、検査データを収集し、気胸の治療経過や気胸が生じた背景因子について調査します。過去のデータを収集するため、本研究に参加することで新たに治療・検査が追加されることはありません。

この研究で得られた情報により、COVID-19に罹患した患者さんのうち、どのような患者さんに気胸が合併しやすいのか、を明らかにすることが期待されます。

4. 研究の参加はあなたの自由意志を尊重します

この研究にご自身のデータを使用されたくないと思ったときには、いつでもご連絡ください。

5. プライバシーの保護について

この研究で得られた情報は、医学雑誌などで公表されることがありますが、お名前や個人的な情報は一切わからないようにいたします。また研究中のデータに関しても、外部に漏れないように厳重に管理いたします。

6. お問い合わせ先について

この研究についてわからないことや、聞きたいこと、またなにかご心配なことがありましたら、いつでも遠慮なく担当医師におたずねください。

また、病気や怪我などで他の治療を受ける時、より詳細な研究の計画、研究の方法についてお知りになりたいときにも、担当医師までご連絡ください。なお、この研究に参加している方の個人情報や、研究の知的財産などには、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【お問い合わせ先】

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 呼吸器内科・感染症内科
〒612-8555

京都府京都市伏見区深草向畑町 1-1

TEL： 075-641-9161

Email: kfujita.acd@gmail.com

研究責任者：呼吸器内科・感染症内科 医長 藤田浩平